

2025 年 12 月 16 日
VISH 株式会社

【累計利用者 105 万人突破】幼稚園・保育園・認定こども園の DX を支える「園支援システム+バスキャッチ」15 周年

～全国 2,900 施設の業務負担を軽減。2026 年 2 月に記念特設サイトを公開予定～

VISH 株式会社(本社:愛知県名古屋市、代表取締役:田淵 浩之)は、幼稚園・保育園・認定こども園の業務効率化を支援する ICT システム「園支援システム+バスキャッチ」が、2025 年 12 月 16 日をもってサービス開始 15 周年を迎えたことをお知らせします。

提供開始以来 15 年間、園とご家庭をつなぐ日々の連絡・運用を支える中で、本サービスは現場の皆さまの声とともに改善を重ねてまいりました。これまでご利用いただいた全国約 2,900 施設、そして延べ 105 万人を超える保護者の皆さまに、心より御礼申し上げます。

本サービスは、

- ・幼稚園：行事や学期運用を見据えたお知らせ配信、出欠・預かり保育連絡、バス運行管理の省力化
 - ・保育園：登降園・延長・請求など日々の運用を一元化し、事務負担を軽減
 - ・認定こども園：教育・保育の併用に伴う複雑な事務や各種帳票対応を支援
- といった、施設種別ごとの運用に合わせて改善を重ねてきました。

園支援システム+バスキャッチ公式サイト:<https://www.buscatch.com/kindergarten/>



園とともに15年。これからも、ずっと。

■教育・保育現場のインフラとして歩んだ 15 年

「園支援システム+バスキャッチ」は、2010 年 12 月 16 日の提供開始以来、園運営における日々欠かせない業務をデジタル化し、先生方の負担軽減と保護者とのスムーズな情報共有を支えてきました。提供開始当時、スマートフォンの世帯普及率は 2010 年末時点で 9.7%(総務省「通信利用動向調査」)と、スマートフォンやアプリによる連絡が今ほど一般的ではない時代でした。スマートフォンやアプリによる連絡が今ほど一般的ではなく、連絡帳や電話を中心とした運用が主流でした。そうした環境下で、欠席・遅刻などの連絡受付、園からのお知らせ配信、登降園の記録、預かり保育管理、園バスの運行管理など、毎日の運用で発生する業務を一元化し、紙や電話連絡に依存しがちなやり取りの手間を減らすことで、現場のコミュニケーションをより確実にする仕組みとして改善を重ねてきました。現在では全国 2,900 施設以上に導入いただいています。

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

VISH 株式会社(ヴィッシュ株式会社) 担当:田中 拓哉(たなか たくや) TEL:052-232-2311

MAIL:info@buscatch.com

近年、少子化や人材確保の課題に加え、制度・運用面の変化への対応も求められています。「こども誰でも通園制度」は 2025 年度に制度化され、2026 年度から全国の自治体での実施が予定されるなど、受け入れや利用管理を含む運用の複雑化が見込まれます。

また、保育の質と職員の負担軽減の両立に向け、職員配置基準の改善も進められており、現場では「人」と「業務」をより適切に回すための環境整備が重要になっています。

さらに、保育業務の効率化に向けた保育 DX の推進が掲げられる一方で、送迎を含む安全管理の強化も進み、送迎用バスに関しては置き去り防止を支援する安全装置の普及に向けた取り組みなど、制度・運用の両面で対策が進められています。

私たちは今後も、現場の声に寄り添いながら、園の「毎日」を支える基盤として機能改善と運用支援を継続し、教育・保育現場に「ゆとり」と「笑顔」が生まれる環境づくりに貢献してまいります。

■15 周年ロゴとキャッチコピーに込めた想いと、特設サイトを 2026 年 2 月に公開

園支援システム+バスキャッチは、サービス開始から 15 周年を迎えるにあたり、節目を象徴する 15 周年記念ロゴを制作しました。

【15 周年ロゴに込めた思い】

園支援システム+バスキャッチは、15 年という節目を迎えました。ICT システムとして長期にわたりご利用いただいたのは、日々の運用の中で支えてくださった園・保護者の皆さまのおかげです。そこで今回、これまでの感謝と節目を祝う気持ちを、視覚的に分かりやすく伝えられるよう、15 周年記念ロゴを制作しました。



デザインは、周年らしい明るさと親しみを軸にしながら、教育・保育現場を支えるサービスとしての信頼感を損なわないバランスを意識しています。「15」の“5”からキャラクターがのぞくモチーフには、日々の連絡や運用を“そっと支える存在”でありたいという姿勢を込めました。また、紙吹雪のモチーフは、節目を共に祝い、次の歩みに向けて前向きな空気を生み出す象徴としてあしらっています。

このロゴを通じて、15 年間の歩みへの感謝がより多くの方に伝わり、少しでも前向きな気持ちにつながれば幸いです。

【キャッチコピー】

「園とともに 15 年。これからも、ずっと。」

これは、子どもたちを迎える毎日の場面で、園と保護者の皆さまに寄り添ってきた本サービスの姿勢を表現したものです。

変化の大きい教育・保育環境の中で、これからも確かな基盤として現場を支え続けることを目指します。

また、15 周年にあたり、本サービスの歩みや利用者の声を振り返る記念特設サイトを 2026 年 2 月に公開予定です。詳細は準備が整い次第、公式サイト等でご案内いたします。

■園支援システム+バスキャッチの主な特徴

①多様な園業務を一元管理し、効率化を実現

幼稚園・保育園・認定こども園など幅広い施設に対応し、欠席・遅刻連絡、園バス運行管理、登降園・預かり保育管理、用品販売、請求管理など日々の業務をデジタル化。

認定こども園特有の複雑な事務処理や無償化申請書類の作成にも対応し、教職員の負担を大きく削減します。他社サービスとの連携にも対応し、現場の運用にフィットした効率化を実現します。

②月額 11,000 円(税込)の導入しやすい料金体系

主要機能を網羅したシンプルな料金プランで、初めて ICT を導入する施設でも安心。

専任担当者が導入から運用まで丁寧にサポートし、IT に不慣れな現場でも無理なく活用できます。

③高い継続利用率と充実したサポート体制

継続利用率 98%の高い満足度を誇り、新規契約の 58.0%が既存施設からの紹介によるものです。

全国で 2,900 施設以上に導入され、運用開始後も継続的なアップデートとサポートで安心してご利用いただけます。

基本機能					オプション機能	
 欠席連絡	 預かり・延長保育管理	 登降園管理	 一斉・個別連絡配信	 掲示板	 バス路線管理	 バス位置情報配信
 アンケート	 園児管理	 無償化管理	 帳票作成(名簿)	 要録・保育計画	 保育料計算・口座振替機能	 連絡帳
 子どもの様子共有(活動報告)	 用品注文	 身体計測	 職員出退勤	 スケジュール	 午睡チェック	

■VISH 株式会社 会社概要

VISH 株式会社は、これからも ICT を通じて「ゆとり」と「笑顔」が生まれる教育・保育現場の実現を目指します。

直近では、出席簿の機能改善や請求時の集計方法の拡張といった機能改善を行い、より使いやすく、現場のニーズに応えるシステムへと磨きをかけてまいりました。

また、AI を活用した保育支援機能の開発など、さらなる進化を見据え、現場の声とともに歩み続けてまいります。

会社名: VISH 株式会社(ヴィッシュ株式会社)

代表者: 代表取締役 田淵 浩之

所在地: 愛知県名古屋市中区錦二丁目 10 番 13 号 SC 錦 ANNEX 5F

設立: 2004 年 12 月

資本金: 1,150 万円

URL: <http://www.vish.co.jp/>

園支援システム+バスキャッチ公式サイト: <https://www.buscatch.com/kindergarten/>

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

VISH 株式会社(ヴィッシュ株式会社) 担当: 田中 拓哉(たなか たくや) TEL: 052-232-2311

MAIL: info@buscatch.com

■出典(注記)

総務省『情報通信白書(平成 29 年版)』:スマートフォンの普及状況(2010 年末時点の数値を含む)

URL:<https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/h29/html/nc151220.html>

総務省「通信利用動向調査」(e-Stat/統計の原データ)

URL:<https://www.e-stat.go.jp/stat-search?toukei=00200356>

こども家庭庁「こども誰でも通園制度について」

URL:<https://www.cfa.go.jp/policies/hoiku/daredemo-tsuen/>

こども家庭庁(資料)保育士等の配置基準の改善(3 歳児、4・5 歳児)に関する内容

URL:

https://www.cfa.go.jp/assets/contents/node/basic_page/field_ref_resources/e4b817c9-5282-4ccc-b0d5-ce15d7b5018c/a0a8d8e1/20251029_policies_hoiku_172.pdf

国土交通省:送迎用バスの安全対策(置き去り防止等)に関する取り組み

URL:https://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha07_hh_000433.html